

東日本大震災に係る

本宮市感謝状贈呈式

が行われました

東日本大震災に係る本宮市感謝状贈呈式が、12月1日に本宮市役所で行われました。贈呈式では、東日本大震災に伴う義援金および支援物資として多大なる寄付をいただいた方々、37人に感謝状が贈られました。



東日本大震災に係る本宮市感謝状贈呈者（順不同・敬称略）

山形富一（本宮字太郎丸）糠澤和夫（東京都）川名榮吉（糠沢字東禅寺）鈴木祐司（本宮字平井）高橋トミ（本宮字石塚）(有)電通システム代表取締役 堀井俊行（本宮字南ノ内）(株)福島情報処理センター代表取締役社長 鈴木正博（郡山市）(株)タカギセイコー代表取締役社長 笠井千秋（富山県）安達太良カントリークラブ本宮市震災チャリティコンペ代表取締役社長 渡辺 勝（二本松市）石橋産業開発(株)フィットネスクラブ広尾代表取締役 石橋英雄（高木字舟場）(株)マインド・(株)マインドステーションすみれ会会長 加藤明子（本宮字中條）コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)代表取締役社長 和田幹二（郡山市）シダックス(株)代表取締役社長 志太勤一（東京都）東北協同乳業(株)

代表取締役社長 石塚總一郎（荒井字下原）(株)富士薬品代表取締役社長 高柳昌幸（埼玉県）パナソニックエレクトロニックデバイス(株)本宮工場 工場長 頓部光司（仁井田字一里壇）(株)ニトリホールディングス代表取締役社長 似鳥昭雄（北海道）日の丸サンズ(株)安達太良スカイレストラン（本宮字天ヶ）溝端紙工印刷(株)代表取締役社長 溝端繁樹（三春町）福島プラスチック(株)代表取締役 荒井伸二（荒井字恵向）(株)IHI機械システム代表取締役社長 谷研一郎（荒井字恵向）(株)リコー代表取締役社長執行役員 近藤史朗（東京都）グンゼ(株)代表取締役社長 平田 弘（大阪市）(株)ノジリ取締役会長 野尻英明（本宮字万世）柏屋食堂 松山大洋（本宮字仲町）本宮6区愛宕町内会会長 國分義正（本宮字馬場）本宮11区町内会会長三瓶康夫（本宮字万世）本宮12区町内会会長 阿部甚吉（本宮字鍋田）柏崎市職員互助会（新潟県）本宮あづま会会長 大内 勉（本宮字下町）社団法人もとみや青年会議所理事長 鈴木 新（本宮字南町裡）成城警察懇話会会長 佐伯久吉（東京都）ピアノ教室リリース 川前由美子（荒井字山ノ神）二本松信用金庫理事長 山口純一（二本松市）本宮市白沢赤十字奉仕団委員長 高野恭子（白岩字大岩入）本宮市水道工事指定店会会長 小山 宏（本宮字仲町）本宮市本宮赤十字奉仕団委員長 齋藤トミ子（高木字大学）



感謝状を受け取る山形富一さん

ありがとうございました

組織見直し案への

答申がなされました

11月10日に、本宮市役所において、本宮市行政改革推進委員会の伊豆伸一会長より、「組織機構見直し案」への答申書が市長に手渡されました。

2回に渡り開催された委員会会議の中で、見直し案について活発な意見が交わされ、見直し方針および部・課等構成について案に賛同するとともに、課名の一部名称変更や各課が取組むべき重点業務、組織運営の在り方について検討を求めなるべく答申がまとまりました。

市では、この答申を受け、市民が利用しやすい行政組織となるよう「組織機構見直し案」を再確認し、24年度から新組織体制で業務に取組む準備を進めています。



▲高松市長へ答申する伊豆会長（中央）と石川副会長（右）

◆問い合わせ先

政策推進課

☎ 33-11111（内線220）

過去最高の成績

タスキをつないだ16人の力走

アンカー難波美彰選手。区間4位の力走



総合10位、市の部9位

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は、11月20日に県内49市町村が参加し、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間96.5kmで熱戦が繰り広げられました。今年は、初出場4人を加え、2年連続の15位から「ゼッケン番号13位以内」を目指し、熱い思いでタスキをつなぎました。その結果、本宮市チームは通算タイム5時間28分59秒を記録、過去最高の順位を記録しました。

《レース経過》過去最高の駅伝

花の1区は、東日本女子駅伝に出場した長井彩香選手。田村高校仲間と先頭集団を走った。

前半は、3位通過の長井選手から渡辺晋史選手・倉諒太選手（初）・渡辺祐也選手・菊地悠樹選手・穂積健選手・高橋和也選手と経験者が、積極的なレース運びで開成山に13位でゴール。常に安定したタスキリレーを展開した。

後半は遠藤僚大選手（初）から渡邊有純選手（初）、作田康輔選手まで好位置でお国入り。地元本宮市民のたくさんの声援を受け、続く國分理沙選手、村上秀選手、今井康範選手、喜多駿也選手が懸命の追走で総合13位まで押し上げ、残る2区間に望みを託した。

15区菅野勝子選手は更に総合順番を二つ上げ、16区アンカー難波美彰選手は、区間4位の力走で更に総合順位を一つ上げゴール。仲間と本宮市応援団の待つ県庁に飛び込んだ。

総合10位。市の部9位。過去最高順位を獲得するとともに敢闘賞を受賞した。



右：区間3位通過の長井彩香選手（右）と軽快な走りを見せた渡辺晋史選手（左）
左：区間4位の力走で順位を押し上げた喜多駿也選手

本宮市全員の敢闘賞



監督 高橋寛紀さん

震災後の復旧・復興の真つ只中にもかかわらず、本宮市商店街の晩秋風物詩となった「ふくしま駅伝」が幸いにも開催されました。いつも以上に沿道からたくさんの方の応援をいただきありがとうございます。

復興と同じように「立ち向かう困難さ」が駅伝にもあります。みんなでつながり助け合うことにより、目標が達成されます。ただ、16人全員が期待に応えることができればいいのですが、チーム力により支え合うのも駅伝です。今年は、練習不足で力を発揮しきれなかった中学生の分まで、高校生や大学生や社会人が確実につなぎました。

過去最高の総合10位まで押し上げたのは、成功も失敗も経験しながら、夢を諦めずに走り続けてきた仲間たちの強い絆があったからです。受験勉強と両立したり、大学・職場の理解を得たりしながら、ふくしま駅伝に結集するのは、簡単なことではありません。走力だけでなく仲間や故郷を想う心も駅伝には必要不可欠です。

震災後の放射線量という見えない敵と戦いながら、年間を通して練習を支えていただいた家族の皆さん・もとみやRCの皆さん、大会をご支援ご協力いただいた市民の皆さんに深く感謝申し上げます。敢闘賞は、本宮市民全員の受賞です。今後も駅伝選手育成にあたり、皆様のご支援ご協力をよろしく願っています。



主将 菅野勝子さん

昨年より良い成績が残せて良かったです。一人一人が頑張った成果が成績につながったと思います。沿道のご声援ありがとうございました。